



「未来づくり」の取り組みを深化させ、JR産業の魅力を向上しよう！

2023年 2月14日

日本鉄道労働組合連合会

JRグループ労組連絡会 2023春闘総決起集会

グループ全体で生み出した付加価値の適正な分配を実現する！

JRグループ労組連絡会は2月10日、大阪市「TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル」において、2023春闘総決起集会を開催した。今次闘争では、JR産業の魅力回復・向上にむけ、「未来づくり」の取り組みを深化させ、働きの価値に見合った魅力ある賃金・労働条件と働き方の見直しを実現すべく、加盟全単組が「ONE TEAM」となって闘い抜く決意を固めあった。

主催者を代表し、奥村敬弥代表幹事（JR東海連合・東海交通事業労組副委員長）は挨拶で「働く仲間のくらしは物価高で厳しく、『待たなし』の状況にある。また、喫緊の課題である離職に歯止めをかけなければ、グループ企業の未来はない。今次闘争は、JR産業の持続的発展にむけた重要な分岐点にあり、『未来づくり』の取り組みを深化させ、あらゆる視点から『人財への投資』を実現させていかなければならない。2023春闘においても、グループ労組が先頭に立って牽引し、大きなうねりを生み出せるよう、89単組が一丸となった統一闘争を展開しよう」と熱く訴えた。



奥村代表幹事 (左)、荻山会長 (右)

来賓を代表して挨拶に立ったJR連合の荻山市朗会長は、加盟単組に「グループ全体で生み出した付加価値の適正分配にむけて、エリア連合とも連携の上、JR各社が登録する『パートナーシップ構築宣言』の取り組みを進め、各労使でJR本体との共存共栄について課題提起を図り、議論を深めてほしい」と要請し、さらに「賃金・労働条件の改善をはじめ、安心して意欲を持って働き続けられる環境を各労使で構築し、人財の定着・確保へと繋がる好循環を実現していこう」と呼びかけた。



<各分科会の代表者による決意表明>

- (工務) 東海交通機械労組 南崎委員長
- (運輸) ジェイアール四国メンテナンス労組 粟飯原副委員長
- (陸運) 南関東ロジスティクス労組 宮本書記長
- (物販) JR九州リテール労組 前田書記長
- (ホテル) JR西日本ヴィアイン労組 中林書記長
- (一般) ジェイアール西日本商事労組 古賀委員長

加盟全単組「ONE TEAM」となって取り組む！

続けて幹事会がJR連合第35回中央委員会で決定した闘争方針を提起し、参加者全員で意思統一を図った。

また、各分科会の代表者による決意表明では、各企業に

おける厳しい経営環境・雇用情勢や働く仲間の生活実態などが述べられ、今次闘争では労使で危機感を共有し、未来を見据えた「人財の投資」について議論を深め、賃金・労働条件を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく決意が示された。

その後、集会アピールを全体で確認し、火野宮幹事の団結がんばろうで氣勢を上げ、グループ労組の2023春季生活闘争が本格的にスタートした。

